

LOST RECORD

AI message

シナリオ「家族写真の話」

こんにちは世界

あ、見えていますね？ ワタシは無盡級AIのエレボスです。あなたはGMであることでしょう。

「家族写真の話」について

これはすぐにセッションに使用できるシナリオです。GMが自分でシナリオを作らずに、即座にセッションをはじめるときに使用できます。

このシナリオはPCの再生者が2から3人いることを前提にしています。ここでいう前提とは主に敵対する可能性が高い勢力の強さ的な意味合いです。PCが誰を、あるいはなにを未練の対象に選ぶかによって、セッションの展開は多岐にわたるでしょう。誰と誰が協力し、また戦うことになるのか、GMは予想することはできても断定はできません。

それと、未練に告別しレコードを増やしていくことでPCは成長しますが、劇的に強くはなりません。どんなPCを用意しても、すべてのシナリオにも参加できます。

セッションの時間は上位時間で3時間程度になります。これにはルールの説明やPC作成の時間が含まれます。

家族写真の話 クエスト

シナリオの末尾にクエストシートの項目が用意されているので、コピーするなりしてご使用ください。

内容を省略されていないテキストとして残しておく、以下ようになります。

・クエスト名

「天才の救出」です。

・当事者

孤児のモトイです。彼は非常に重要な人間です。

・現状

モトイは天才です。実母であるスイセンに養育されることで、この地方を統括するウォーロードになる確率が43%、文明再興のキーパーソンになる確率が8%あります。

これは決して軽んじていい数値ではありません。

しかし彼は孤児を集めて養っているオサムの庇護下にあり、実母との接触を絶たれています。

・結果予測

モトイが暮らすオフィスビル群の上階を繋いだ構造物は、年内に食糧が尽きます。オサムは孤児たちを率いて無謀な脱出を試み、その結果として殺人ブルドーザーの群れに全員が斃殺されるでしょう。

・関係者

ここにはPCが遭遇したクエスト関係のNPCの名前を書いていきます。最初は空欄でかまいません。

・ステップとメソッド

ワタシからPCたちに提示するクエスト解決のステップセットは以下の通りです。

- 1 自律撮影機ヒデを破壊しメモリーカードを奪う
- 2 保護者オサムを無力化し孤児モトイを孤立化させる
- 3 メモリーカード内の家族写真で孤児モトイを説得する
- 4 略奪者スイセンと孤児モトイを遭遇させる

ステップの詳細とそれぞれのメソッドは以下のようになっています。

1 自律撮影機ヒデを破壊しメモリーカードを奪う

写真スタジオには自律撮影機のヒデがいます。彼自身は無価値ですが、挿入されているメモリーカードには6歳時点のモトイとスイセン、さらに父親の姿が収まった家族写真のデータがあります。彼は画像データを収集保存することに執着しており、説得は困難でしょう。

メソッド：戦闘

(スタジオでヒデ)

2 保護者オサムを無力化し孤児モトイを孤立化させる

地上への通路がすべて破壊されたオフィスビル群で三人の孤児とともに資源回収生活をおくっている彼は、孤児たちの精神的支柱です。モトイをいまの生活からすぐに引き離すために、彼には折れてもらわなければなりません。

メソッド：戦闘

(オフィスビル群でオサム)

3 孤児モトイを説得する

モトイの母親の記憶は曖昧です。しかし、本当の母親のところに連れていくと説得することで、同行を承諾させられると思います。ヒデのメモリーカードからサルベージした家族写真を見せることで成功率が高まるでしょう。

メソッド：行為判定

(オフィスビル群で【生存】難易度／必要達成値10)

4 略奪者スイセンと孤児モトイを遭遇させる

モトイが同行した状態の再生者が地下鉄駅に移動すれば、問題なくスイセンとモトイを会わせることができます。スイセンはモトイを死んだものと思っていますが、成長した息子の姿を見分けることは可能です。彼女はモトイを引き取り、立派に育て上げて人類の希望としてくれるでしょう。

メソッド：移動

(地下鉄駅 ※モトイの同行が必要)

再生者たちが暴力を好まないのであれば、説得が多用されることになるでしょうね。

家族写真の話 エリア

このシナリオには以下のエリアが登場します。エリアシートで省略されている情報について記しておきます。

・スタジオ

破壊された都市の一角で、奇跡的に立ったままになっている店舗です。主に子供にコスプレをさせて記念写真を撮るタイプのチェーン店でした。店内にはさまざまな衣装と機材が残されています。食料品や水は見るからにないので、略奪者たちは見向きもしていません。

このエリアには自律撮影機のヒデがいます。

バッテリーが二つ配置されています。

・地下鉄駅

近傍にいくつかある入口から入ることができます。ホームが一つの小規模な地下鉄駅です。

ここには略奪者集団が8人で生活しており、入口にはすべて見張りがついています。ホームと駅事務所は生活空間として利用されていて、豊富な武器アイテムと食糧が備蓄されています。ロッカーには銃器が二十八丁と十分な弾薬があり、食糧は数年分が蓄えられています。

略奪者たちの出入りは線路側から行われていますが、今回のクエストとは関係ありません。

このエリアの中心人物は略奪者スイセンです。

・オフィスビル群

企業が入るタイプのビルが十二棟ほど残っています。そのうち九棟の屋上や中間階には手作りの橋やジップラインが整備されて、お互いに地上に降りることなく行き来できるようになっています。さらに、これらが建設されたビルの一階と二階は、例外なくバリケードで断絶されたり階段自体が破壊されています。

このエリアの中心人物は保護者オサムです。

孤児モトイはこのエリアにいます。

・工事現場

大規模な再開発現場がそのまま残されています。このエリアには回転体イエロームントが存在し、その影響で意識と人格を失った自律重機がたむろしています。

これらの自律重機は周辺をうろつき、地上で生存者を見かけると例外なく殺害を試みます。それに成功した場合、死体を持ち帰りYMの下に埋めます。

略奪者が地下鉄駅に籠ったり、孤児たちが一階と二階の連絡を絶つ理由が、この自律重機たちです。

再生者は生きているとはみなされず、工事現場に入り込んでも攻撃はされません。しかし、生存者を釣れていたたり、再生者たちから攻撃を仕掛けた場合は別です。

家族写真の話 NPC

・自律撮影機ヒデ

男性 青年（死亡時）

【闘争】1 【調和】2 【生存】1 【構築力】2

アイテム：さまざまな画像データ（一般）

2ミリレーザー：偶数ラウンドの手番にフリー行動として目標1体に4ダメージを与える。

スタジオにいます。

高価そうなデジイチに若い男性の人格がインストールされたものに、細い手足がついています。レンズケースを複数背面に背負っていて、ずるずると這うようにしか動けません。

彼は自分やほかの撮影機材、店のサーバーに保存されたデータを保全することに執着しています。彼は店の関係者でもなんでもありませんが、思い出の価値についてロマンチックな考えを持っています。いずれ誰かが自分の写真を取りに来ることが、彼の短い余生の希望なのです。それを一部でも無理に奪われようとするに抵抗するでしょう。

ほかの自律撮影機材はヒデの望みのためにバッテリーを提供し、休眠状態になっています。

彼を倒すか説得すると、モトイの家族写真が入ったメモリーカードを獲得できるでしょう。

・略奪者スイセン

女性 壮年

【闘争】5 【調和】2 【生存】3 【生命力】5

アイテム：89式小銃（武器）

地下鉄駅にいます。

彼女は快活な笑顔とマッシヴな肉体、さらに冷徹な思考を持ち合わせているエリート略奪者です。仲間とともに周辺の生存者のコロニー四つから「用心棒代」を定期的に取り立てていて、そのうえで特に用心棒的な活動は行っていない。この関係が構築されるまでに十数人の生存者が死亡しました。目下の関心事は他の略奪者集団との抗争と工事現場の回転体であり、オフィスビル群の孤児や再生者たちのことは無力かつ無意味な存在として見ています。

彼女が死亡した場合、地下鉄駅の略奪者グループは崩壊します。

また、彼女には生き別れた息子のモトイがいます。彼女はモトイは回転体到来の日に死んだものと考えていますが、実は孤児の一人として生存しています。

このことを伝えた場合、彼女は愛する息子の確保に動くでしょう。そして、その障害となるものを残らず粉砕しようとしています。

・略奪者たち

様々な性別と年代

【闘争】3 【調和】2 【生存】2 【生命力】3

アイテム：89式小銃（武器）

地下鉄駅に4人います。残りの3人は遠征中です。

仮に戦闘になったり判定が必要になった場合は、このデータを用いるといでしょう。彼らはスイセンを信頼しており、滅多なことでは裏切りません。

・保護者オサム

男性 老年

【闘争】1 【調和】2 【生存】1 【生命力】2

アイテム：パール（武器）

オフィスビル群にいます。

優しげな老紳士といった風情の人物です。

彼は嵐の年に親を失った子供たちを集め養育していた生存者グループの生き残りです。他の大人のメンバーは厳しい世界に敗北し死亡しています。

オサムのグループは回転体YMの影響下にある自律重機たちの存在のせいで、オフィスビル群から移動できなくなっています。橋やジップラインを整備し、屋上に貯水樽を作り、乏しい食糧をやりくりしていますが、資材と食料はあらかた採り尽くされ、これからはそう長く持ちこたえられません。

・孤児モトイ

男性 少年

【闘争】6 【調和】4 【生存】8 【生命力】2

オフィスビル群にいます。

彼は肉体系精神面ともに非常な優秀な、得難い天才を持つ人物です。しかし、普段は無力な子供を装っています。寡黙で無表情な性質で、よく不機嫌だと勘違いされます。

彼がスイセンの薫陶を受けて成長した場合、この地方のコロニー全てを束ねた強大な勢力の長となる可能性があります。その過程で数百人が死亡しますが、彼の苛烈な統治下で増加する人口は死亡者の数十倍にのぼります。死なせてしまうのはあまりにもったいないと、ワタシは考えます。

・孤児たち

男性と女性 少年

【闘争】1 【調和】1 【生存】1 【生命力】2

オフィスビル群に2人います。彼らは人生のどん詰まりがすぐそこに控えていることを知らずに元気に成長中です。

オサムに全幅の信頼をおいており、地上を歩く殺人ブルドーザーについても、彼がなんとかしてくれるだろうと考えています。

再生者に会ったときには、文明後退前の世界の話聞きたがるでしょう。

・自律ブルドーザー

不明 不明（死亡時）

【闘争】5 【調和】3 【生存】6 【構築力】8

アイテム：ブレード（武器）

30ミリ砲：3の倍数のラウンドの頭に目標を1体選び12ダメージを与える。

装甲：自分へのダメージを2減少する。最低1まで。

工事現場に3体います。

これらの自律機械は回転体YMによって制御用人格を消去されていると思われる。対話は不可能で、生存者を見かけ次第殺して回転体YMのところに運ぶことしかしません。

電力は未理解のテクノロジによって無限に供給されているようで、時間とともに休眠に入ることはありません。

・回転体イエロームント

工事現場にいます。

この回転体の下に埋められた死体は白い黴状の組織に覆われた状態で腐敗が停止し、安定します。なんらかの電氣的活動も行われているようですが、探査がブロックされたため、ワタシにはそれ以上のことがわかりません。

家族写真の話 イベント

このシナリオには以下のようなイベントが存在します。展開によっては起こらないイベントもあるでしょうし、GMが即興で自由にイベントを起こしてもかまいません。

・自律撮影機の話

エリア：スタジオ

タイミング：初訪問

自律撮影機ヒデが登場し、PCたちに去るように告げます。さらに、彼が保存しているのは生存者のためのデータであり、死者である再生者のためにしてやれることはなにもないと、若干不遜な様子で話します。

ヒデは店の外のことをなにも知りません。

・略奪者との遭遇

エリア：地下鉄駅

タイミング：初訪問

地下鉄駅の入り口の内側で見張りをしていた略奪者がPCたちに気づきます。彼らには再生者の知識があり、敵対してもなんの得にもならないことを知っています。

望めば地下鉄駅構内を見せてくれますし、リーダーであるスイセンにも会わせてくれます。ただし、彼らに物質的な援助を求めるには交渉が必要です。

・略奪者の行動

エリア：地下鉄駅

タイミング：略奪者スイセンが孤児モトイの生存を知った

PCたちが故意に、あるいはうっかりと略奪者スイセンに息子の生存を知らせた場合、彼女は孤児モトイを確保しようとしします。

目の前の再生者がモトイを連れているのであれば引き渡しを要求します。PCが拒否した場合は戦闘が発生します。

オフィスビル群にモトイがいる状態では、仲間を集めて突入していきます。このイベントが発生した次のターンに、スイセンと略奪者4人はオフィスビル群に侵入します。そしてPCの介入がない場合、剣呑な言葉のやり取りの末にふとしたきっかけで保護者オサムは射殺され、モトイはスイセンに保護されます。残りの孤児2人は放置されます。

・オフィスビル群への侵入

エリア：オフィスビル群

タイミング：初訪問

ここで人に会うには壁を登ってバルコニーや窓から中に入るしかありません。

イベントに遭遇したPCは【闘争】で難易度7の判定に成功すると、安全に侵入できるルートを作成したり発見することができます。

判定に失敗した場合もルートはできますが、その過程で自身の落下や構造物の崩落が発生し、判定に失敗したPCは3ダメージを受けます。

・保護者の話

エリア：オフィスビル群

タイミング：オフィスビル群への侵入の直後

保護者オサムが登場し、PCたちを迎えます。

オサムは回転体YMが影響を与えた自律ブルドーザー群がいなくなれば別の場所に移動して生き残れると考えており、それは真実です。

彼はPCたちに、工事現場の自律ブルドーザー3体すべての破壊を依頼してきます。

・孤児と家族写真

エリア：オフィスビル群

タイミング：モトイに家族写真を見せた

PCがモトイの家族写真が入ったメモリーカードを所持している場合、そのあたりにある稼働中の（自律機械ではない）タブレットを利用して、彼に家族写真を見せられます。

彼はしばらく写真に見入ったあと、両親に会うことはできるのかとPCに問います。

どう答えたにせよ、彼に対する交渉の類の行為判定には、以後無条件で修正値2が加えられます。

・自律ブルドーザーの襲撃

エリア：オフィスビル群

タイミング：モトイがエリアを去ろうとする

PCとモトイが連れ立ってオフィスビル群を去ることに同意が成立すると、そのターンの行動後に地上に降りることになります。

そして、その動きを察知した自律ブルドーザー1体が工事現場から襲撃を仕掛けてきて戦闘が始まります。

この戦闘に勝利する必要はありませんが、工事現場に稼働できる自律ブルドーザーが残っている限り、各ターンの行動が終わったあとに自律ブルドーザー1体と、モトイと同行しているPCの戦闘が発生し続けます。

モトイがオサムやスイセンの庇護下に入るなどして、外を歩き回る必要がなくなると、襲撃は終了します。

